

| | |
|---------|--|
| 研究課題名 | 大動脈弁温存基部置換術レジストリー |
| 研究責任者 | 外科学第一講座 椎谷 紀彦 |
| 研究機関名 | 浜松医科大学付属病院 |
| 研究目的と意義 | <p>日本胸部外科学会の統計などによると、我が国の大動脈弁形成術は現時点でいまだ少数例に行われているに過ぎないものと推察される。その背景には、大動脈弁形成術に対する外科医の不信感、あるいは経験不足があるといっても過言ではない。</p> <p>そこでAortic valve academy が2013年12月28日に正式に発足し、年に一回の会合を重ねようとしているところである。その貴重な知見を余すところなく外部に発信し、大動脈弁形成術が本邦でも普及、発展していくことになれば、患者さんにとっても大きな福音であると思われる。しかし現時点で本邦でどのような大動脈弁形成術がどの程度行われて、どのような成績なのか、現在のデータベースから窺い知ることはできない。かかる指標なしでは大動脈弁形成術を本邦で普及、発展させていくのは困難と言わざるを得ない。現在、日本心臓血管外科手術データベース(JACVSD)に大動脈弁形成術に関する項目を追加してprospective にデータを集計しようと計画中だが、その結果が得られるにはまだまだ時間がかかると予想される。そこで心臓血管外科を施行している全国の施設に大動脈弁形成術式に特化したアンケートを送信し、集計し、本邦における大動脈弁形成術の現状を調査することが本研究の目的である。</p> |
| 研究期間 | 西暦 2015年3月(倫理委員会承認後) ～ 2017年12月 |
| 研究方法 | <p>●対象となる患者さん： 待機的に動脈弁温存基部置換を受けられた方 胸骨正中切開による心臓血管手術と同時に行った心臓合併手術を受けられた方</p> <p>●研究に使用する試料： 1) 大動脈弁/基部手術中、狭窄/逆流病変の割合と大動脈弁形成術の割合 2) 大動脈弁形成術症例における患者背景、術式、成績</p> <p>●研究方法 アンケート参加施設において、2015年1月から2017年12月までに待機的に大動脈弁もしくは基部に手術を要した全ての症例を対象とし、下記データをExcel sheetに入力して収集し、解析される。</p> |

| | |
|--------|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・大動脈弁/基部手術中、狭窄/逆流病変の割合と大動脈弁形成術の割合・大動脈弁形成術症例における患者背景、術式、成績 対象期間：2015年1月から2017年12月まで 登録期間：2015年3月から2017年12月まで |
| 問い合わせ先 | 〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：第一外科 担当者：椎谷紀彦、山下克司、高橋大輔 TEL：053-435-2276 FAX：053-435-2272 E-mail： |

医学系研究に関する情報公開文書